

感染症発生状況

平成30年6月13日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年6月4日（月）～6月8日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 520名

1日あたりの延べ欠席者数 104名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 107名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（215名）**、下痢・腹痛（74名）、嘔気・嘔吐（43名）、咳・鼻水（34名）

疾病ごと **胃腸炎（ノロウイルス7名・その他21名）**、溶連菌感染症（27名）、おたふくかぜ（20名）、水痘（15名）

かぜ症状、気管支炎、胃腸炎は平時と同じ傾向です。水痘、おたふくかぜ、溶連菌感染症、リンゴ病が気になります。

インフルエンザの報告はありませんでした。

【症状別の発生状況】

胃腸炎	厨川、河北、盛南、河南、都南地域で減少。玉山地域で増加しました。
溶連菌感染症	厨川、河北、盛南、都南地域で増加しました。
おたふくかぜ	河北、都南地域で増加しました。
水痘	玉山、都南地域で減少。厨川、盛南地域で増加しました。

【県の状況（5/28～6/3）】

感染性胃腸炎は、盛岡市、大船渡、宮古及び県央地区において、保育所、小学校、介護サービス事業所などでの、ノロウイルスによる集団感染事例が報告されました。過去3年間の岩手県では、冬季だけでなくこの時期にも報告が多くなっているため注意が必要です。予防には、石けんと流水による十分な手洗いと、塩素系薬剤による患者の吐物や便の適切な処理が重要です。

手足口病は、釜石地区で警報値（定点当たり患者数5人）を超えました。本疾患は、4歳位までの幼児を中心として夏季に多くみられ、飛沫や接触のほか、便中に排出されたウイルスからも感染します。主症状として、手のひらや足底、口腔の粘膜などに水疱性発疹がみられます。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いを徹底することが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤル）ファックス 652-3424】